

第107回 6月のまちづくり学習会

『甲斐青萍（かいせいひょう）の絵に見る明治期熊本の町並み』

甲斐青萍は明治15年生まれの熊本の日本画家である。藪之内（ホテルキャッスル周辺）にあった済々黌に入学し、分立した熊本中学を卒業した後、東京美術学校（東京芸大）で日本画を学んだ。卒業後は母校の熊本中学で美術を教えたが、明治期の熊本を中心とした町並みを描いた図を多数残している。古写真にもないような絵も多く、熊本の町並みを語る上では避けて通れない貴重な絵であり、講演では古写真や古地図も併用しながら、ちょうど夏目漱石がいた頃の明治中期頃の熊本の町並みを語る。

話題提供 **伊藤 重剛 先生**

熊本大学大学院自然科学研究科（建築系）教授

日時 **6月25日(木)**

場所 **まちなか工房**

入場
無料

18:30～20:00

熊本市中央区南坪井町1-5
上通並木坂サンコスメディオビル2階

まちづくり学習会について

まちなか工房では月に一度、中心市街地関係者や市民を対象に『まちづくり学習会』を開催しています。県内外から専門家や実務経験者を招いて講演を開き、中心市街地活性化策についてさまざまな意見交換をしています。まちづくり学習会の御案内をe-mailまたはFAXにて差し上げますので、御希望の方はまちなか工房まで。



第106回まちづくり学習会と10周年まちづくり懇談会の様子

過去の学習会

- 5/28 「まちなか工房開設10周年記念まちづくり懇談会」@セカンドサイト
- 106回 「西部電気工業(株)旧熊本本社跡地の利活用について」 西部電気工業(株)坪井再開発準備室長 小田川仁氏
- 105回 「Fujisawa サスティナブル・スマートタウンにおけるくらし起点のまちづくり」 Fujisawa SST マネジメント(株)社長 宮原智彦氏
- 104回 「桜町・花畑周辺地区における広場予定地の暫定供用について」 熊本市都心活性推進課 永野康裕主査
- 103回 「学都シンポジウム in 金沢の報告と今後」 熊本大学まちなか工房 特定事業研究員 富士川一裕
- 102回 「熊本市下通新天街NS共同ビル(仮称)について」 (株)櫻井総本店社長 櫻井貴浩氏/(株)南栄開発顧問 豊永信博氏
- 101回 「大分市中心市街地の今」 大分大学名誉教授【まちづくり研究所主宰】 佐藤誠治氏